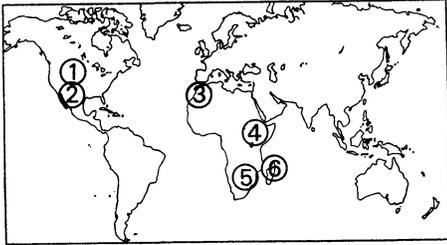


## 世界の異常天候とその影響評価（6）

### （Climate Impact Assessment, April 1984）



#### 1. 合衆国北部——吹雪

ロッキー山脈北部とグレートプレーンズ北部では、4月中にいくつかの激しい吹雪に襲われ、数千頭の家畜が死んだ。4月25～27日の吹雪は特に激しかった。モンタナ州では1.5mに達する降雪があった。

#### 2. メキシコ・合衆国南西部——高温・乾燥

メキシコとテキサス州では高温乾燥の天候のため、灌漑していない農作物と牧草が被害を受けた。カリフォルニアでは乾燥した天候のために、低木地帯で火事が生じた。カリフォルニアとテキサスでは1月1日以来の降水量が平年の5分の1にしか達していない地域もある。

#### 3. モロッコ——少雨

4月の降水量は平年を下回ったので、2年続きの不作と水不足になることが確実になった。

#### 4. アフリカ東部——干天

ケニアでは4月後半の大雨によって干ばつから救われたが、エチオピアの北部と中部及びソマリアでは干天のため牧草と農作物が被害を受けた。このため、6、7月に副次的な農作物が取り入れられてもエチオピア北部の飢饉の解消にはほとんど役立たないとみられている。ブルンジ、タンザニア、ウガンダの一部とルアンダでは、農作物の十分な成長のためにより多くの雨が望まれている。

#### 5. アフリカ南部——農作物の不作

例年どおり4月半ばに冬の乾期が始まり、農作物の取り入れ作業に好適な状況となった。南アフリカ共和国、レソト、ボツワナ、ジンバブエ、ザンビア南部、モザンビークの一部では、12月から3月初めまで続いた干ばつの影響で農作物は不作であった。飢饉が続いているモザンビークでは、テテの北西の地方を中心に今年だけで2,000人以上が死んだと伝えられている。

#### 6. マダガスカル——熱帯低気圧

4月9～12日に熱帯低気圧 Kamisy がマダガスカル北部を襲った。マハジャンガ地方の海岸の一都市（推定人口は7万人）では、大雨による洪水と220 km/h（約60m/秒）に達する強風のため、市街の80%が破壊された。

（注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している）

（気象庁気候変動対策室 真野裕三）